



令和9年度第49回全国伝統的建造物群保存地区協議会 総会・研修会の開催について

令和9年度第49回全国伝統的建造物群保存地区協議会総会・研修会の開催について、今月11日に行われました全国伝統的建造物群保存地区協議会役員会において、令和9年5月に亀山市で開催することが決定しましたのでお知らせします。

本協議会は、重要伝統的建造物群保存地区を有する市町村が集まり、昭和54年に発足しました。現在は、106市町村（129地区）で組織し、加盟市町村が協調して、各保存地区の保存整備に関する調査研究及び施策の推進を図り、保存と活用、地域文化と住民の生活文化の向上に資するための活動を行っています。

本総会・研修会では、総会（記念講演、首長サミット等）のほか、保存地区の住民参加型の研修や情報交換会、現地視察を行う予定です。

東海道の宿場町で唯一の伝建地区である関宿は、令和6年12月に重要伝統的建造物群保存地区選定40周年の節目を迎えました。今回、全国の会員市町村が一堂に会する本総会・研修会を好機と捉え、保存団体や地域の皆様との深い連携のもと、関宿をはじめとする本市の魅力を全国に発信してまいります。

大会概要

- 1 日 時 令和9年5月（2日間）
- 2 会 場 亀山市関宿伝統的建造物群保存地区、亀山市文化会館
- 3 主 催 全国伝統的建造物群保存地区協議会、亀山市
- 4 参加者 重要伝統的建造物群保存地区を有する106市町村、各保存団体、文化庁、三重県教育委員会等